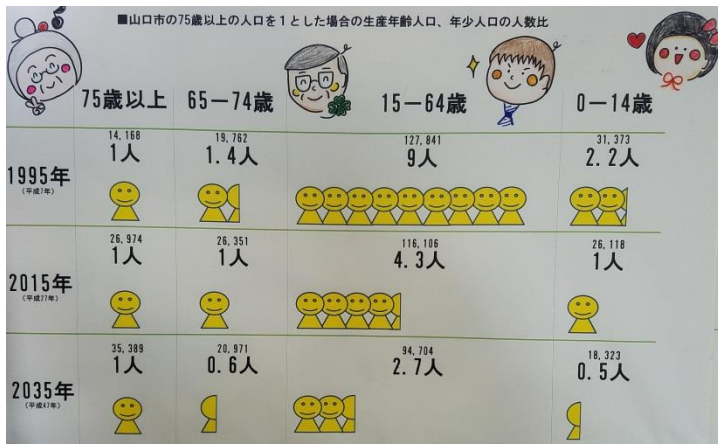
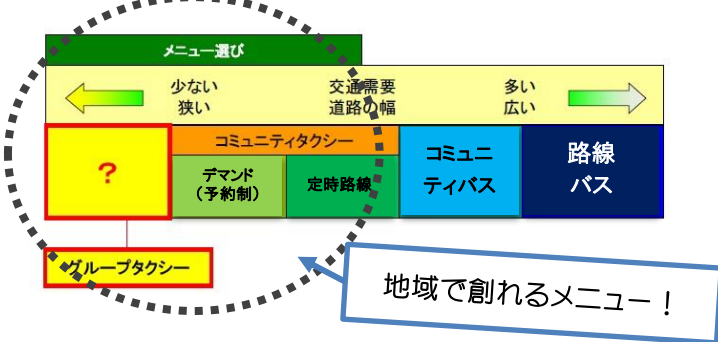


【山口市の75歳以上人口を1とした場合の
生産年齢人口、年少人口の人数比】



【地域の話し合いで生まれたグループタクシー】



参加者アンケートより<13名回答>

Q地域検討会への参加により公共交通への理解が深まりましたか？

- ①深まった 13人
- ②どちらともいえない 0人
- ③深まらなかった 0人

Q公共交通を利用しようと思えますか？

- ①引き続き利用する 4人
- ②これからは利用する 2人
- ③わからない 7人
- ④利用しない 0人

Q公共交通を守る必要を感じましたか？

- ①感じた 12人
- ②どちらともいえない 1人

Q地域での話し合いの必要性を感じましたか？

- ①感じた 13人
- ②どちらともいえない 0人

山口市の主な支援制度

- 乗り合わせるほどお得なグループタクシーの利用券交付・・・65歳以上、最寄りの公共交通機関から1km(75歳以上700m)以上離れている方、他のタクシー利用券制度(福祉系)を受けていない方を対象にキロ数に応じて年間60枚交付
- 福祉優待バス乗車証・・・70歳以上、市内の路線バスに限り一乗車100円
- おでかけサポート券・・・要支援・要介護認定を受けている方、介護予防・日常生活支援サービス事業対象者(福祉タクシー・グループタクシー利用券と重複は不可)一乗車300円の利用券使用可能。1000円超えるごとに1枚ずつ追加使用可能。年間40枚交付
- サイクル&ライド、パーク&ライド(乗り換え専用の駐輪場・駐車場)
- ノーマイカーデー参加登録者への毎月第3金曜日のバス半額割引
- バス停上屋設置の補助金
補助対象経費の2/3以内、補助限度額70万円 など

詳細は、山口市交通政策課までお問い合わせください！

【感想(抜粋)】

- Y h o oサービス、需要専用の路線を創るとするのは参考になりました。(医院、サッカー、地域イベント)
- 公共交通の必要性を感じました。
- 難しい問題である。
- けっこう話せたので良かった。
- 現在の大型でなく小型でも便数を増やす。大海側、大道駅での連絡を良くする。
- 勉強になりました。
- もっと参加者を増やした方がよい(何かしらの役員が多い)。非常に勉強になる。

今後に向けて地域の話し合いを応援します！
詳細は、交通政策課にご相談ください。地域づくり協議会や協働推進課とも連携し、専門家のサポートも受けられるように調整したいと思います。

創ろう！守ろう！みんなの公共交通 地域検討会 かわら版

秋 穂 編
平成29年3月発行



～安心して住み続けられる
～交通まちづくりをめざして～

山口市では、マイカーへの依存が進行しており、交通弱者の増加や自然環境への悪影響、さらには人口や都市機能の郊外拡散による中心市街地の活力低下など、様々な社会問題が起きています。

少子高齢化の進展に伴い日本の総人口が減少に転じるなど、社会の構造が根本から変わろうとしている中で、より良い環境を創造し、持続的な社会を築いていくためには、自らの生活利便性を追求するだけでなく、将来を見据えた取り組みを着実に進めていく必要があります。

こうしたことから、市民が将来に不安を感じることなく、安心して生活できるよう、マイカーに頼り過ぎず、移動手段の軸足を公共交通へ転換していくために、まちづくりや地域づくりなど総合的な観点から山口市では「山口市市民交通計画」を平成19年に策定し取り組んできました。

当初の地域検討会から、交通弱者のためになんとかしたいとコミュニティタクシーの運営組織(小鯖・宮野・嘉川・小郡・秋穂・佐山・阿知須・島地)が立ち上がり、少しずつ乗車率も上がっていますが50%を超えているのは小郡地域のみです。1地域では運行中止となりました。併せて路線バス、コミュニティバスとも利用者は減少しています。更なる交通弱者への対策としてグループタクシー(相乗り)の仕組みも新設し、利用券の交付制度もあります。

しかしながら、平成28年に実施した「公共交通に関する市民アンケート」での、市民の公共交通の満足度は「満足7.5%」「やや満足20.1%」と低く、将来への移動手段については「とても不安38%」「やや不安34.9%」と高くなっています。この現状を打破し、「クルマがないと生活できない山口からクルマがなくても生活できる山口」に転換していくためには、地域の幅広いみなさんの現状への理解と協力なしでは進めることはできません。そこでこの度市内の全地域を網羅して検討会を開催していくこととなりました。

創ろう！守ろう！みんなの公共交通 地域検討会 かわら版 秋穂編

発行：山口市都市政策部交通政策課 〒753-8650 山口市亀山町2-1

TEL 083-934-2729 FAX 083-934-2959

編集：山口市市民活動支援センターさぼらんて 〒753-0047 山口市道場門前1-2-19

TEL 083-901-1166 FAX 083-901-1165

3月16日（木）秋穂地域交流センターにおいて、地域の方14名の参加の中地域検討会を開催しました。

最初に山口市の交通計画についての説明を受け、現状の課題をわかちあい、専門家の意見を頂き、課題を解決するアイデアを出し合いました。その概要をお伝えします。

■現状をわかちあう！

➤ 交通弱者

菜の花号(2ルート)が乗車率が3割を切り、業者の都合もあり廃止へ
 その人たちは今どうしてる？
 免許返納後の移動手段不安
 免許返納きびしくなる
 運転不安だけでなく他に方法がない
 病院に連れて行ってくれる家族が居なくなったらどうしよう…
 バス停まで遠い
 タクシー会社がないのでグループタクシーが頼みにくい…
 自転車に乗ることを危ないからと反対される

➤ 秋穂の高校生のリアル

暗いバス停で心配
 大道・四辻まで自転車
 学校まで雨でも10km自転車
 親・祖父母の送迎だのみ(大変!!)
 送迎が大変なので一時期引っ越す家庭もある！
 駅の無人化怖い
 車で送迎が当たり前になってしまった
 高校卒業と同時にすぐに免許取得し、公共交通を使うという意識がない

➤ 利便性

帰りのバスがない
 待ち時間が長い(大道に出ると平日3時間待ち)
 飲み代よりも帰りのタクシー代の方が高い
 JRと防長の接続が悪い
 時刻表が解りにくい

➤ 周知

夕方の防長バス乗客が1~2人のみ
 こどものころから乗る体験がないので、乗り方を知らない
 若い人が公共交通を利用しない



交通ジャーナリスト 鈴木文彦氏



できたらいいな・・・

手をあげたらいつでも乗れる、小回りのきく、移動手段があったらいいな～

秋穂の路線バスが循環になるといい

サンマート、病院という路線のみピンポイントで増やす

イベント時はバスの最終を遅く

小型になってもいいので根幹交通を存続させたい

バスに乗ると割引券(お買い物)を配布

グルタク割引が防府でも使えるように

バスガイドで乗車の不安解消

患者バス

秋穂の民スマホアプリ…利用検索、利用実態を調べる

民タクの開始！

これから地域ですすめるために・・・

秋穂の課題は、地域内の移動、地域外への移動とにわけられる。地域みんなで考え免許返納後にクルマがなくてもなんとかかけられるようにしていく必要がある。そのために・・・

- ・話し合い(地域核をどうする？ルートは？利用促進をどうする？)
- ・体験する(自治会・子ども会でバスツアー企画→利便性調査)
- ・高齢者の外出を促すしくみ(行楽・楽しみ・声掛け)

われわれ専門家も全力で応援します！
 山口市民の7割が1年1回(1000円)公共交通を利用するだけで守れる！
 クルマは乗らなくても
 1日1700円！



みんなで乗ってみるツアーでハンドル離れを！
 (免許返納要件厳しくなります)

セニアカーの活用促進(セニアカー&ライドのしくみ)

高校生の通学の問題をみんなで取り組もう！
 (他県事例いろいろあります)



大阪大学 森栗茂一氏

■利用促進アイデア■ 時刻表&体験ツアーなど 出来るかも！

いつも使う路線の時刻表を持つ

バスを使ってお遍路&ご朱印集めのコース提案

コドモジカンプロジェクトと組み合わせ子どもにバス乗車体験

バスを試みようツアー(まず大人から)

セニアカー(電動カー)の試乗会

秋穂専用時刻表をつくる

アイドルを使った若者向けへのPR

レノファの応援バスを終わってすぐの時間帯をなんとか変更してもらおう

あいのりツアー-婚活ツアー

時刻表に合せた行動計画



～誰もが安心して暮らせるための交通まちづくり～

■公共交通は社会のインフラ

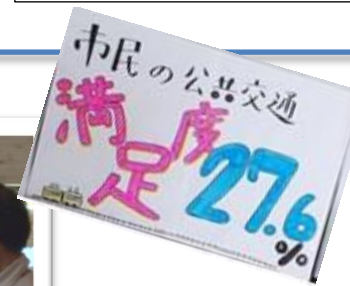
- ・誰もが自分の意思で移動できるように(高齢者・子育て世代・高校生)
- ・災害時に移動を支えられる

■集い歩くことが賑わいに

- ・生活に必要な施設をつなぐ公共交通ネットワーク
- ・多少の不便も「健康増進」と割り切る

■こどもの教育

- ・こどもの社会との関わりが増す



根幹交通(防長バス)の利用促進の啓発！
 地域ニーズの把握！
 地域での話し合い！

クルマがないと生活できない山口から
 クルマがなくても生活できる山口へ

みんなで創る
 持続できる
 地域の交通！

